

令和6年度第2回 横浜市病院安全管理者会議 アンケート

▶集合研修

日時:令和7年2月14日
18:00~20:00

場所:横浜市社会福祉センターホール

▶動画配信

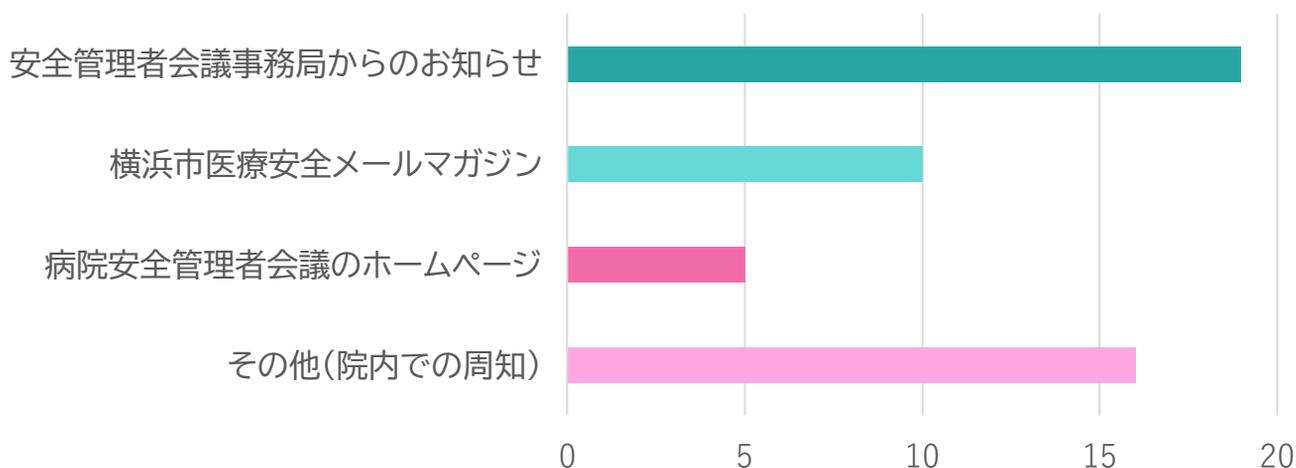
日時:令和7年2月21日~3月17日

横浜市医療安全課YouTubeチャンネル

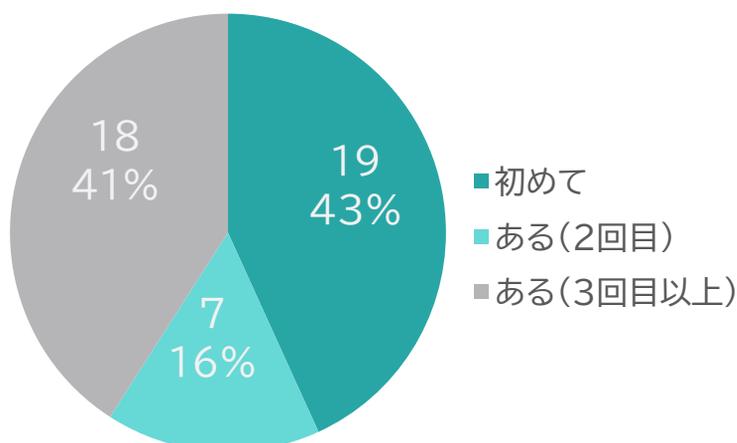
来場者数 **28名**(22施設)

動画視聴回数 **151回**(41施設)

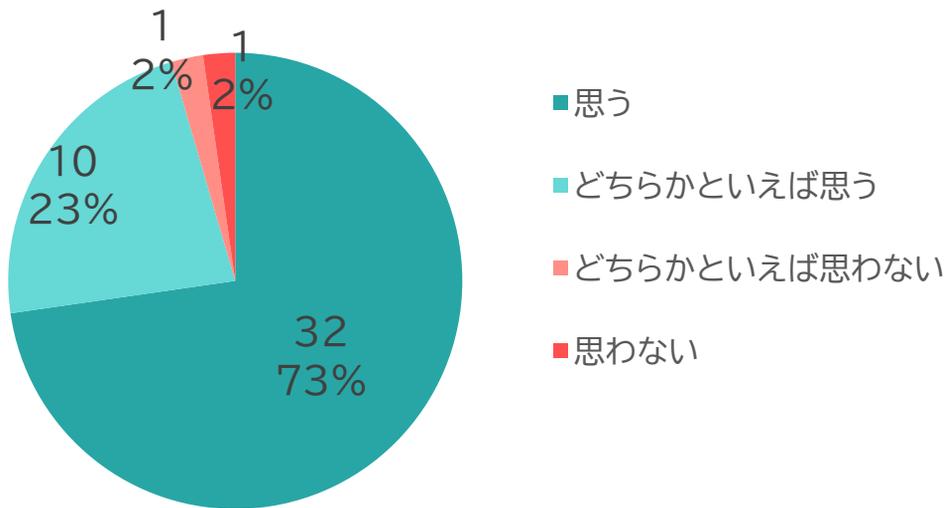
■今回の開催を何で知りましたか(複数選択可)



■横浜市病院安全管理者会議に参加したことがありますか



■次回も横浜市病院安全管理者会議に参加(視聴)したいと思いますか。



思う

- 安全に関する知識の向上と実践に役に立つ研修であるため
- 安全管理者として研修内容が勉強になるため
- 安全管理者として理解しておく内容が話されている場であると思うため
- 医療に従事する以上、普遍的かつ継続的にアップデートしないといけないと感じるため
- 各部会の活動報告も確認できるだけでなく、講演内容が毎回、有用(自院での課題に近い)だから
- 業務の参考になったから
- 今回の訴訟に関わる内容などは、実際の現場でもそれに発展する可能性がある業務に関するものでとても参考になりました。今回のような実現場の業務につながる講演を引き続き開催していただけたらと思います
- 今回の例で言えば、「訴訟」といういつ自分たちが対象になり得るか分からないものの、必ずしも身近ではないような不確定な知識を医療安全という目線で研修を受けることができるのは有意義であり、上記に関連するような内容は管理者として必要と思われるため
- 時事問題、遭遇する可能性のある問題等について、わかりやすく解説して頂けるため
- 情報共有や知識の習得ができる
- 訴訟についての講演を専門家にしていただける機会はあまりないので、大変勉強になった。今後も通常経験しないような内容の講演を聴ける機会があれば参加したい
- 他病院での取り組みなど、医療安全情報を収集のため
- 知識を深める必要があるから
- 普段から医療安全について意識し、日常業務に取り組む必要があると感じているため、その知見を広げておきたい
- 弁護士さんの話が大変役に立つ内容でした
- 有意義な内容だった

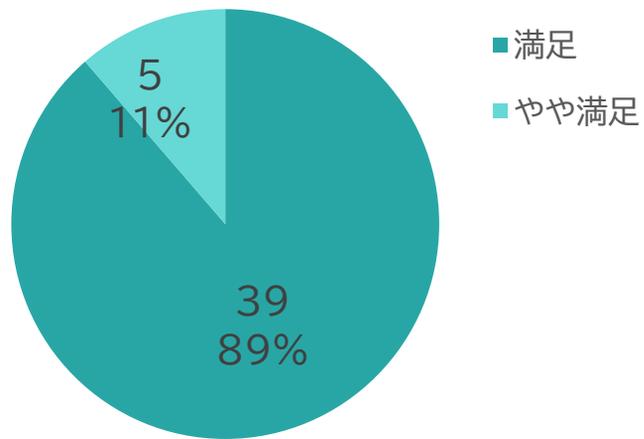
どちらかといえば思う

- 安全管理者会議の取り組みを知ることができたため
- 医療安全に関し、とても参考となったため
- 今回の講演での学びが多かったから
- 今後も、必要な知識や参考となる知識等が得られるのではないかと感じた
- 内容に応じて検討したいから

思わない

臨床業務多忙のため

■今回の講演について



満足

- とても興味深い話であった。患者側だけでなく医療者側の立場の訴訟、弁護の話もあると良かった。
- 依頼者の話を十分に聞く点が医療者にも必要と感じた(患者さんやご家族が医師の説明を十分理解しているのかなど) 後に、こんなはずではなかったとならないために違った目線で医療過誤が捉えられた。
- 医療機関側の弁護士の講演は多いが、患者側代理人としての弁護士の話を聞くことができとてもためになった。
- 医療訴訟について理解が深まった
- 医療提訴に至る医療者側の背景は理解しているつもりであったが、患者側の弁護がどのように行われているのかを知ることができた。
- 院内での医療安全委員会の活動では、ヒヤリハットやインシデント報告、その事例に対するの改善・解決策について院内や病棟での周知や話し合う機会がありますが、医療訴訟となった場合に何故起こるのかのイメージができず、自分の意識の低さを感じました。今回の講演で、自分の意識を変えるきっかけになり、動画視聴をして良かったと思いました。
- 院内で訴訟事案に対応しているため。
- 患者の心理や、紛争、解決へのプロセスを具体的に知ることができたため
- 患者側からの訴訟に発展する背景など普段は知る機会がなかったため大変良い学びを得ることが出来たため
- 患者側の代理人でありながら、中立の立場で検討を加え答を導きだそうとする姿勢に感銘を受けました。
- 患者側の弁護士さんの思いを知ることや患者側の心理を聞いて、とても有意義でした。
- 患者側弁護士さんで、視点が異なり良かったです。
- 具体例を挙げながら、非常にわかりやすい説明でした。
- 今回の訴訟に関わる内容などは、実際の現場でもそれに発展する可能性がある業務に関っているのととても参考になりました。今回のような実現場の業務につながる講演を引き続き開催していただけたらと思います。
- 私自身はリハビリ職として働いている中で訴訟に直接関わったことはないが、患者側の目線としてはリハビリテーションに対しても講義の内容で事案が発生してもおかしくないと思いました。もちろん、普段の業務の正当性やカルテ記載などの整合性は当たり前のように高い精度で実施すべきと思いますが、改めて組織としての見直しは必要と思いました。

■今回の講演について

満足

- 資料もわかりやすく、とても興味深いものでした。様々な情報が拡散している中で、正しい知識を身に着け、適切に対応したいと思いました。
- 事故は起こりえる可能性があり、改めて普段の対応を考えさせられた。
- 治療を受ける側と提供する側で、双方傷ついている状況であることを前提に取り組みたい
- 実際に患者、家族からご意見をいただくこともあり、その多くがメディエーター等による傾聴と丁寧な説明によって解決？されているが、実際に訴訟に至るケースもあるため、患者側の弁護士から話が伺うことができたのは有意義だったと思う また、しっかりと医療訴訟のための研修が存在し、それを受けている、受けていない弁護士が訴訟に関わっていることも新たな視点で今後の参考になったと思う さらに、医療機関での対応で訴訟を回避しているのと同様に、弁護士の相談でおさまっている事例も沢山あることを認識できたことは非常に意味があると感じられた 今後も少なからず、このような事例に携わる可能性があるため、医療機関も最大限患者のために取り組んでも残念な結果となることと患者側の期待に応えられなかった結果を相互理解にしていこうとの大切さの両方を忘れない様にしていきたいと思った
- 専門的な法律家の話を聴講できた
- 全てが訴訟では、ないということ。患者や家族に寄り添うことの大切さを学びました。
- 訴訟について知らないことばかりだったので今回の講演は非常に面白い内容だった。配信なので隙間時間に視聴できるのは便利。
- 知りたい内容だった。
- 難しい内容であったが、とてもよく理解できた。
- 普段聞くことのできない内容で、法律の難しい用語なども分かりやすい説明で、勉強になりました。

やや満足

- やや難しい部分もあった。可能ならば患者側にもある程度知って欲しい内容と思われた。
- 医療者側は、遺族側の視点を知っておくことで、日々の業務でコミュニケーションの図り方やICの内容の質に活かせるのではないかと感じた。
- 全員に当てはまるような内容ではない
- 内容が盛り沢山のわりに予定通り終わったが、もう少し余裕があった方がよかったように思います。

■横浜市病院安全管理者会議で取り上げてほしいテーマ等

- ・ パイシエントハラスメントによる従事者のメンタルヘルス
- ・ 現在の医療安全管理に関する行政としての重点課題
- ・ 医療機関の規模による医療安全に対する取り組み/課題の共有
- ・ インシデントレポートの分析方法など
- ・ 医療事故対応について
- ・ 身体拘束最小化への取り組み ACPIに関する基礎知識
- ・ 相談やクレーム対応に関する事項
- ・ 多職種連携(転倒・転落や薬剤に関するインシデント等)
- ・ 転倒骨折予防の取り組みについて
- ・ 特病院は患者を選べないので、信頼関係が構築できなかった場合の枠組みが必要
- ・ 暴言等への対処の仕方

■今回の会議の感想、ご意見・ご要望など

□今回の講演の内容について

- ・ 医療事故が起き、患者側の心理や裁判になった時、判決までに相当時間がかかることなどわかりやすい講義でした。
- ・ 改めて、いろいろ考えられる講演内容であった。
- ・ 患者側弁護士の講演であったのが良かったと思います。
- ・ 上記で記入した内容と重複しますが、今回の講演を通して、医療過誤の損害賠償責任とは被害者や加害者間の公平な分担を図るもので、医療従事者を問責するものではなく、法的義務違反かどうかの評価をするものであるという内容が強く印象に残りました。また、患者様との医療に対する認識の差についても医療従事者の日々の説明や声かけで、その差を少しでも埋めることができれば良いなと思いました。改めて「説明する事」の大切さも感じました。日々の業務の中で、自分に必要な事を見直すきっかけにもなりました。ありがとうございました。

□会議について

- ・ 運営されている方々は本当にご苦労様です
- ・ 現場にそくした内容であることを期待したい。
- ・ 初めて参加しました。対面での情報共有と管理局からも情報を得たい
- ・ 少し時間が長いので 1時間位の講演が集中できる時間かな、と思います。2時間開催であれば、講演2本の方がいいかな、と思いました。
- ・ 専門部会からの報告が良かった
- ・ 多施設での問題共有
- ・ 特にありません。
- ・ 病院運営上の問題点・解決方法を共有したい。